

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和2年1月31日 (46世帯中 26部回収)

事業所名: 児童発達支援事業どんぐり

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			・人数が多い日は、グループ分けをして落ち着いた環境で活動できるよう工夫している。	92%	4%	4%		・部屋、ホール、外庭がありストレスなく活動できていると思います。	
	2 職員の適切な配置	○			・パート職員の配置。	88%			12%	・どのような専門の方がいるのか分からない。 ・質問にもしっかり答えてくれるし、いつもスタッフが沢山いて安心します。	・臨床心理士を配置し、年1回発達検査を実施している。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	○			・必要に応じて、子どもの特性に合わせて環境を整備している。	84%			16%	・毎回同じことをくり返し覚えられるように、毎回配置を同じにしてくれて、本人も混乱することなく活動できている。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			・降園後に毎日掃除をするなど、衛生面に気をつけている。	84%	12%		4%	・いつ見てもきれいに掃除されてて気持ちいいです。活動する時、遊ぶ時、しっかりメリハリができていて、おもちゃ等も見えないところに片付けられていていいと思います。	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			・降園後に職員間で子どもの様子や支援について話し合っている。	/	/	/	/	/	/
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			○		/	/	/	/	/	・今後、第三者評価の実施も含めて検討。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			・年間計画で内部研修を実施。必要に応じて外部研修へ参加。	/	/	/	/	/	/
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○				96%			4%	・その子に合った無理のない計画、目標が設定されていて、又、家でどう教育をすればいいのかも丁寧に教えてくれたので助かりました。家の教育と支援センターの支援との差がうまれて子供が混乱しないように橋渡しを丁寧にしてくれる。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○			・ガイドラインに沿った項目を設定している。	88%			12%		
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○				/	/	/	/	/	/

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
適切な支援の提供 (続き)	4	○				92%			8%	
	5	○				/	/	/	/	
	6	○			・年齢や子どもの発達に合わせた内容を考えている。	88%			12%	
	7	○				/	/	/	/	
	8	○			・パート職員も含め、活動内容の打ち合わせや個々の支援方法があれば確認している。	/	/	/	/	
	9	○			・毎日、振り返りを行い次回の支援の確認や保護者からの情報も全員が共有している。	/	/	/	/	
	10	○				/	/	/	/	
	11	○				/	/	/	/	
関係機関との連携	1	○				/	/	/	/	
	2	/	/	/		/	/	/	/	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○			・巡回で利用児の園との連携を行っている。必要に応じて回数を調整している。 ・就学児は学校への引継ぎを行っている。	/	/	/	/	/	
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○				/	/	/	/	/	
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○				/	/	/	/	/	
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	○			・地域の保育園や幼稚園に在籍している子どもが多いため、実施していない。	42%	4%		54%	・認定こども園に通園しているので、交流の必要がない。	
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	○				/	/	/	/	/	
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○				92%			8%		
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○				88%			12%		
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	○			・必要に応じて、ペアレントトレーニングの情報提供を行っている。	58%	12%		30%	・子どもの接し方、ほめ方等を教えてくださり実践しています。	・今後も情報収集に努め、必要に応じて研修に参加する等行っていく。

